第79回愛知県高等学校総合体育大会 バドミントン競技 県大会 大会要項

- 1 主催 愛知県高等学校体育連盟
- 2 主管 愛知県高等学校体育連盟 バドミントン専門部
- 3 共催 愛知県 愛知県教育委員会
- 4 後援 中日新聞社 愛知県スポーツ協会 愛知県バドミントン協会
- 5 大会役員 大会委員長 鈴木 敏夫 (愛知県立豊橋東高等学校)
レフェリー (競技役員長) 稲垣 翔悟
デピュティーレフェリー (総務部長) 上出 美佳
デピュティーレフェリー (競技審判部長) 佐藤 雅史
(競技審判副部長) 荻野 佳宏
医療役員 山田 悠里子
競技役員 川端 一基 加古 伸吾 渡邊 武志 安藤 智淳 三浦 時央
野瀬 泰弘 立松 彰吾 大村 悠介 桐林 健太 森田 麻里名
天野 英也 石川 大樹 田畑 佳樹 飛田 真道 早川 悠介
安藤 友一 千賀 裕斗 丹羽 雄飛 立木 裕太 吉田 光希
加藤 大地 深津 英晃 濱中 健斗 松本 禄生 笹本 浩平
坂田 耕藏 丸山 貴光
- 6 開催日時・開場時刻・会場・種目
令和7年 5月17日(土) 9:00開場 パロマ瑞穂アリーナ 男女学校対抗
5月18日(日) 9:00開場 名古屋市守山スポーツセンター 男子複
9:00開場 パロマ瑞穂アリーナ 女子複
5月24日(土) 9:00開場 名古屋市守山スポーツセンター 男子単
9:00開場 名古屋市千種スポーツセンター 女子単

- (4) プレーヤーはマッチに出場する際、ラケット、タオル、飲み物等をバッグに入れてコートに集合すること。(コートに共用のかごやトレーは設置しない。)
- (5) 審判は原則として初回戦を除き、敗者審判とする。なお、個人戦において、プレーヤーは線審1名を連れてマッチに臨む。敗者は出場試合の審判用紙を本部へ持っていき、審判を行う試合の審判用紙を受け取る。準決勝以降は、愛知県バドミントン協会の派遣審判員とする。
- (6) シャトルコックは各校持ち寄りとし、公益財団法人日本バドミントン協会の第1種検定合格球に限る。温度別適正分類表示番号③とする。
- (7) プレーヤーは、相手または観客に不快な感じを与えないように、競技中、運動用ウェア、シューズを着用し、競技の品位を保つために、公益財団法人日本バドミントン協会の審査合格品とする。
- (8) 上衣の背面中央には、高等学校名を日本語で明記すること。(県名をつける場合には、高等学校名の下に愛知と明記すること。) 背面の文字は単一色で、文字列各行の大きさは、それぞれ高さ6cm～10cm、横30cm以内とし、視認性の高い文字(楷書体・明朝体またはゴシック体のような文字)を使用し、文字の色は上位背面の文字列表示部分の色と明確に区別できる色とする。
- *ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦15cm、横30cmの大きさを基準とし、4隅を留めること。(ゼッケンの場合の文字は、黒色又は濃紺色とする。)

10 備考

- (1) 組合せは、「愛知県高等学校体育連盟」の公式 Web サイトにアップロードする。
- (2) 競技中にプレーヤーが負傷した場合、主催者が応急の処置はするが、その後の責任は負わない。
- (3) 学校対抗においては、学校対抗メンバー表を学校対抗当日、大会本部に提出すること。
- (4) 開場は上記のとおりである。到着が早すぎないように注意すること。
- (5) 本大会より開会式を行う。

- (6) 貸切バス等を利用する場合は、総務へ連絡し、可否を確認すること。
- (7) 各校は、必要人数の線審の帯同をすること。
- (8) 観客席の座席は指定しないが、十分な間隔をあけて着席すること。
- (9) 本大会男女シングルスでベスト8に進出したプレーヤーは、令和7年6月7日（土）に開催される「第79回 国民スポーツ大会バドミントン競技〔少年男子、少女女子〕愛知県予選会」の出場権利を与える。

1.1 感染症対策について

- (1) マスクの着用については、個人の判断に任せるものとする。
- (2) 飲み物や着替え等を入れるかごを各コートに設置しない。タオルやラケット、飲み物等はすべて各自が持参したバッグ内に入れる。保冷バッグの利用は可とするが、クーラーボックスの使用は認めない。
- (3) 換気に関わる体育館の出入口の開閉に関しては、各会場の体育館の指示に従う。

1.2 連絡先   愛知県立豊明高等学校 上出 美佳   Tel 0562-93-1166   Fax 0562-93-1542

競技上の注意

競技審判上の注意

[全般的事項]

- この大会は、愛知県高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規程により行う。
- 審判は原則としてすべて敗者審判で行う。
- プレーヤーは開会式・開始式に間に合うように会場に到着すること。
- 競技の進行を円滑に進めるために、コールされたら速やかに「集合」すること。
- マッチの進行状況に応じて、予定されたマッチの開始時刻やコートを変更することがある。放送には十分注意をすること。
- 試合を連続して行う場合のインターバルは次の通りである。
〈学校対抗〉○学校対抗が連続する場合は20分とする。ただし、愛知県大会の決勝・3位決定戦は30分とする。
○2コート以上並行してマッチを行い、同一プレーヤーが連続してマッチをする場合は10分とする。
〈個人対抗〉○準決勝からは15分、その他はすべて10分とする。
- 各マッチのインターバルは次の通りである。
○すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが最初に11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認める。
(プレーヤーは20秒前にはコートに入ること)
○第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。
(プレーヤーは20秒前にはコートに入ること)
- インターバル中のアドバイスは、監督・コーチなど同時に2人までである。
主審の「(コート番号) 20秒」で、コートから離れるものとする。
なお、コーチングシートを設ける。
- 個人対抗単において、マッチ開始前のウォームアップ(3分間)をする相手は対戦相手とする。
- マッチ中のプレーヤーの水分補給・汗ふきなどは必ず主審の許可を得ること。
なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとする。
○容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用し、主審横のショートサービスライン付近でバッグに入れ、保管すること。
○氷嚢は、ベンチ、コーチングシートで保冷バッグなどに入れ、保管すること。
- サービスの遅延行為についての判定は主審が行う。
*サブやレシーブの位置についたら、プレーヤーが、準備できていないことを示すために手を挙げている場合でも、サーバーが立って何もしない場合やラケットを左右に動かしている場合でも過度の遅延は不当な行為になり、主審の判断でサーバーまたはレシーバーに遅延行為として「フォルト」にする場合がある。
- 主審及び大会本部が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められない。
- 次のような違反行為に対しては厳正に対処する。(競技規則第16条)
○息切れなど体力回復等の遅延に関わる行為、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせる行為。
○主審の許可なしにコートから離れること。
○故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
○審判員や観客に対して横柄な振舞い、相手に対して下品で無礼あるいは不適切な態度、言動。
○見苦しい着衣でプレーをする。
○ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行な振舞い。
- 競技中は、必ず高等学校名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけること。
背面の文字は単一色で、文字列各行の大きさは、それぞれ高さ6cm~10cm、横30cm以内とし、視認性の高い文字(楷書体・明朝体またはゴシック体のような文字)を使用し、文字の色は上位背面の文字列表示部分の色と明確に区別できる色とする。
- 競技中の怪我や病気については競技役員長が判断する。
- 審判員の判定に対して疑問のある場合は当該プレーヤーが、学校対抗の場合は当該プレーヤーと監督に限り質問することが認められる。ただし、抗議あるいは異議であってはならない。
- 競技場内では、プレーヤーは電子通信機器(携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等)の電源を切るかまたはマナーモードにすること。
- コートサイドで、コーチはマッチ中、電子通信機器(携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等)を使用してはならない。

【学校対抗に関する事項】

1. 学校対抗（団体戦）はダブルス2組・シングルス3名で行い、マッチ順序はダブルス1・ダブルス2・シングルス1・シングルス2・シングルス3で実施する。なお、シングルス1出場者以外は、ダブルスとシングルスを兼ねて出場することができる。
2. 監督、コーチ、マネージャー、プレーヤーの変更は開会式前をもって最終のものとし、以後の変更は一切認めない。ただし、追加は認めない。なお、その際の変更は、公益財団法人日本バドミントン協会の会員登録を終えている者とする。
3. 初回戦のオーダー用紙は、開会式前に大会本部へ提出すること。次回戦以降は大会本部で手渡すものとする。対戦相手がわかり次第、速やかに提出すること。
4. オーダー用紙は、3枚複写で記入し、(A) (B)を提出し、(C)を自校で保存すること。
5. 指示のあった時刻までにオーダー用紙の提出がない時には「棄権」とする。
6. プレーヤー集合所は設けない。エントリーをしている者（監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、プレーヤー5名以上7名以内とし、マネージャーはプレーヤーを兼ねることができる。また、5名を欠いた場合はチームとして認めない。）は、プレーヤー集合の放送の指示によりコートに集合すること。
7. ベンチに入ることができるのは、当該マッチにエントリーされた者のみとする。
8. マッチ開始前のウォームアップは、初回戦に限り、対戦チームと挨拶の後、主審の指示で各校5分間行うものとする。順番は組合せ番号の先番チームからとする。なお、当初から2コート以上を用いてマッチをする場合は、両チーム同時に5分間とする。ただし、決勝・3位決定戦については各マッチ前に3分ずつウォームアップ時間を与える。（* 開会式前のウォームアップはない。）
9. 団体戦開始時（挨拶時）には必ず監督も整列をすること。監督不在の場合、原則としてそのマッチはすべて没収となり、オープン形式での参加となる。
10. マッチは、1回戦より2～3コート並行して行うことがある。その際、同一プレーヤーが連続してマッチをする場合のインターバルは10分とする。
11. マッチは、勝敗決定（3マッチ先取）後、打ち切りとする。（進行上マッチを並べて行った場合、オーダーの順番に関わりなく、マッチの終了順で団体戦の勝敗を決定する。）
12. 勝敗が決定したら対戦チームとあいさつをし、勝利チームは退場し、敗者チームは審判用紙を本部席へ持っていくこと。

【個人対抗に関する事項】

1. プレーヤーの変更は、いかなる場合でも認められない。
2. プレーヤーはマッチが近づいたら、開会式・開始式で指示があった場所に待機すること。
3. コーチングシートに入ることができるのは、次の①②を満たしている者とする。
  - ① 公益財団法人日本バドミントン協会の会員登録を終えている者。
  - ② 引率教員または学校長が認めた指導者。
4. マッチのコールがされたら、速やかにコートに集合すること。
5. マッチ前のウォームアップは認めない。ただし、決勝・3位決定戦・2位決定戦については主審の指示に従い、同時に3分間とする。（単の場合、対戦者同士で行うこと）（* 開会式・開始式前のウォームアップを設ける。）
6. 勝敗決定後は、対戦相手とあいさつをし、勝者は退場し、敗者は審判用紙を本部席へ持っていくこと。

【一般上の注意】

1. 各競技会場の開場時間を確認して、あまり早い時間に行かないこと。
2. 愛知県大会においては、監督・コーチ・マネージャーは会場到着後、大会本部で受付を済ませ、IDカードを着用すること。
3. 競技者は会場に到着したら、学校対抗に出場するチームの代表者はオーダー用紙を本部席に取りに行くこと。また、個人戦で「棄権」がわかっているところは本部に報告すること。
4. 各競技場では、係員の指示や会場の表示に従って、下履きと上履きの区別をつけること。
5. 競技フロア内での飲食やクーラーボックスの持ち込みを禁止する。ただし、学校対抗の際、ベンチでの水分補給を認める。濡れた場合は、各校の責任できれいにすること。
6. 部旗・応援旗を使用する際には、競技に支障がないような配慮をすること。なお、競技や大会の運営に支障が生じると大会本部が判断したときには、取り外すこと。
7. 応援の際、競技に支障がないように配慮をすること。太鼓やラッパなどの鳴り物、うちわメガホンなどを使用した応援は禁止する。競技に支障があると競技役員長が判断した場合は、競技規則に基づき厳正に対処する。
8. フラッシュを用いての写真撮影は禁止する。また、会場施設内の電源（コンセント）の使用は禁止とする。
9. ゴミは各自で責任を持って持ち帰ること。「来たときよりも美しく」の気持ちを心掛けること。
10. 競技中の疾病、傷害については応急処置のみ主催者で行うが、その後は各自で処置をすること。
11. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自（各チーム）で責任を持って行うこと。
12. 各会場との最前列は、一般および対戦校用応援席とするので、荷物等は置かないこと。なお、観覧席では立っての応援は禁止する。また、事故防止のため最前列の手すりにはもたれないようにすること。

第79回愛知県高等学校総合体育大会 県大会 駐車場利用の注意点

愛知県高体連バドミントン専門部委員長

稲垣 翔悟

施設を利用する上で注意点がありますので、以下の点に必ず目を通して周知していただき、近隣のご迷惑とならないよう、ご協力をお願いいたします。

1 5月17日（土）、18日（日） パロマ瑞穂アリーナについて

敷地内駐車場は、数が足りなくなることが予想されます。保護者の方は近隣のコインパーキングをご利用いただくようご協力をお願いいたします。

2 5月18日（日）、24日（土） 守山スポーツセンターについて

小幡緑地の駐車場には駐車しないようご協力をお願いいたします。

以上のことを来場される各校の大会関係者や保護者の皆様へ周知の上、徹底していただきますようご協力の程よろしくをお願いいたします。敷地内や近隣の駐車場にも限りがありますので、公共交通機関での来場にご協力下さい。また、他の大会会場におきましても、近隣住民の方々に迷惑になるような行為は絶対に行わないようお願いいたします。特に周辺施設や道路等への無断駐車は近隣住民の方々に多大な迷惑をかけることになります。今後の大会運営のためにも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<この文書の問合せ先>

担当 愛知県立豊明高等学校（上出 美佳）

電話 0562-93-1166

FAX 0562-93-1542

令和7年 5月 9日

各高等学校バドミントン部顧問殿

愛知県高体連バドミントン専門部

委員長 稲垣 翔悟

第79回愛知県高等学校総合体育大会バドミントン競技における学校対抗戦メンバー表の提出について（通知）

県大会の学校対抗戦においては別紙のメンバー表の提出が必要となります。つきましては、別紙用紙に記入のうえ5月17日の学校対抗戦当日、体育館入場後に本部席へ提出してください。

なお、学校対抗戦の試合開始時（挨拶時）には必ず監督も整列をしてください。監督不在の場合、原則としてその試合は没収試合となり、オープン形式での参加となります。

<この文書の問合せ先>

担当 愛知県立豊明高等学校（上出 美佳）

電話 0562-93-1166

FAX 0562-93-1542

種目 バドミントン

男子 ・ 女子

区分

県

学校名

引率責任者氏名

	氏 名	学年	協 会 登 録 番 号
監 督			
コ ー チ			
マネージャー			
選 手 1			
選 手 2			
選 手 3			
選 手 4			
選 手 5			
選 手 6			
選 手 7			
選 手 8			

上記のとおり申し込みます。

令和 年 月 日

学校名

校長名

愛知県高等学校体育連盟会長 殿